

一般質問



&



市のゆきえは

12月定例会、21名の議員が質問

※用語解説は20ページに掲載

乙窪工業団地 イオンの早期開店を

田中良隆



問 イオンが市有地を年間1億1千万円で貸してほしいと申し入れている。何もしなければ借金の返済で毎年3千万円ずつ一般会計から持ち出しが必要になる。地域住民の利便性、地域の活性化、野

洲市財政など、総合的に判断すれば、これは野洲市民にとって絶対プラスである。
一部での反対の声はあるが、それはそれとして何らかの対策は必要だが、今のチャンス逃しては

いけない。
中心部だけが栄えるよくなまちづくりであってほならない。イオンが、早期に開店できるよう望む。

新市のまちづくりの 視点で前向きに検討

市長

答 住民の利便性という

点から、平成13年度消費購買動向調査を見ると旧中主町の地元購買率は20・6%、同様に地元商店充実度に対する満足度も、充実していると回答した住民は27・7%と、近隣の旧野洲町の67・6%、守山市の82・0%と比較しても著しく低い状況である。

「地域の活性化・雇用創出・財政力強化」の実現に向け、さらには合併後の新市のまちづくりという総合的な観点からの検討も加えつつ、前向きに検討を進めたい。

こうした現状を真摯に受け止め、当初の目的



イオン予定地

新市の障がい者福祉は

藤村 洋二



問 昨年4月から措置制度から支援費制度へ移行し、また、市にも福祉事務所が設置され、障がい者の方々も住み慣れた地域で自立し、安心した生活を

目指されており、野洲市の役割はますます大きくなっています。新市の障がい者福祉の方策を問う。

障がい者の方々を一般就労へ結びつけるトライアル雇用の実施④障がい者福祉計画の策定は⑤(仮)まちづくり基本条例の策定に障がい者の代表を。

ユニバーサルデザインの視点で策定

市民健康福祉部長

答 「共生と安心のまち」を目標に障がい者も健康者も平等に参加できる社会の実現に向け、障がい者福祉に取り組む。

①旧両町の障がい者福祉計画はノーマライゼーション、リハビリテーションの視点であり、今後はユニバーサルデザインの考えを取り入れたい②地域防災計画には災害弱者対策を取り入れる③県の事例を検討する④新市で早急にユニバーサルデザイン

の考えを取り入れて策定する⑤まだ具体的な進め方はまとまっていないが、多くの市民の方々のご意見を聞きたい。



地域でいきいきと!!

景観を考えた

まちづくりを

梶山 幾世



問 景観緑3法が12月17日から施行され、国は自治体の取り組みを応援、予算、税制面の支援も拡充し、観光立国の実現やヒートアイランド現象の緩和等を目指している。

景観法の中で 県と協議・検討

環境経済部長

本市もこの制度を活用し、条例の制定等まちづくりへの取り組みに次の点を考えてはどうか。

- ①電線の地中埋設化
- ②地域一番景観大賞(仮称)の創設で市民が誇りを持てるまちに。

答 ①電線の地中埋設化は、平成11年に新電線類地中埋設化計画があり、比較的大規模な商業地域や駅前周辺地域、景観の優れた地域が対象となっている。

②地域一番景観大賞(仮称)の創設は、景観計画作成時、景観地区の候補を募集する際、応募に魅力を与えることから手段として参考にしていく。

その他の質問

- 介護予防、生きがい対策について
- 旧市営住宅の環境整備について

選定箇所と整備効果等がポイントとなり、費用面の負担も大きく、今すぐ地中化は難しい。今後、景観法の中で関係機関・県と協議し、検討していきたい。



電線の地中化を